

梅鶯仏教壮年会報

第162号
2020年
1月19日

1月例会

期日：1月26日（日）

夕刻5時～6時15分

プログラム

お勤め

法話

『浄土真宗のみ教え』

《聞くことは信心なり》

放談会（自由に話しましょう）

仏教讃歌斉唱

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

人は去っても、

その人の微笑みは去らない

人は去っても、

その人の言葉は去らない

人は去っても、

その人の温もりは去らない

その人は去っても、

拝む手の中にかえってくる

新年のご挨拶

会長

森勝昭



新年明けましておめでとうございます。新しい年を穏やかに迎え、今年はお慶び申し上げます。タト今年はお慶び申し上げます。となりトとなる「子」ねずみ年なり、世の中安らかに、又災害のない年にと願っております。十月には台風十九号が、関東、東北信州地方に大きな災害が発生しました。又、南海・東南海沖には三十年以内に巨大地震の発生率が六十から七十パーセントと予想されています。滋賀県は内陸部で安心感があります。油断は出来ません。日常生活の中で備えておく必要があります。梅鶯仏教は、住職様のご指導の下、この一年間会員の皆さ運営してき

ました。二ヶ月毎の例会、報恩講などにおける学習会、聴聞。研修旅行は名古屋別院に参拝して、輪番様、職員様より別院の歴史などお話しして頂きました。津市の真宗高田派本山、専修寺へも参拝しました。や、年末恒例の除夜会のお勤めのおでん田楽焼、漬物などお手作りでおいしく頂きました。き、お寺に集まり、仏法を聴いと申すと思っています。令和二年度の研修は、本山の念仏奉仕団参拝を、十月五日六日に決めました。ご参加願います。住職様は、四月より坂田組二十五力寺の組長に就任されます。仏社会員様、門信徒の皆様にはさらなるご支援をお願いいたします。私事でありますが、今年は家内と共に喜寿と金婚式を迎え、感謝したいと思っております。

題材法話

新年明けましておめでとうございませう。

アフガンスタンで復興

支援に尽くされていた医

師の中村哲さんが、昨年

の暮れに悲しくも銃弾に

倒れられました。

その中村哲さんが生前

にこんなことを言ってお

られました。

アフガンの人達の願い

は二つです。一つは「一

日三度の食事がとれるこ

と」。

そしてもう一つは「生ま

れ故郷で家族と一緒に暮

らすこと」。

私は現在日本という

国のこの地に住み、朝起

きれば太陽が昇り、空

があり水がある。

そして朝ご飯を頂い

て、一日を過ごさ

き、家に帰れば

ついている。

今日のつぎには

明日が来る。そ



また新しい年を迎える。

私達にとつて、「当

り前」と思っていること

が、実は「当たり前でな

い」世界があるというこ

とを改めて気づかせら

れました。

○「当たり前」が

「有り難し」

に

仏教が示す「縁起」と

いうものの考え方、つま

り全てのものには原因が

あり、そこに縁が備わっ

て結果が生じる。

その縁起からすると、

今の私があるということ

は、そう簡単なことでは

無いことに気づかさせて

頂くことが出来ます。よ

ほどの育て（縁）が

あつてのことです。「当

たり前」と思っている世

界が、「有り難し」に変

わります。

とは、ただ「ア

フガン」

よりも私達の方が

なんだ」と単に甲



し、今すでに受く。仏法

聞きがたし今すでに聞

く」と示されます。

つまり、人として生

れることは非常に難

けれど、私達は今、人

として生きています。そ

でも仏法を聞くという事

はまた難しいのだけ

ど、今私達は既に聞か

せて頂いている」とい

有り難いんです。

○世の中安穩なれ、

仏法広まれか

し

親鸞聖人は「世の中安

穩なれ、仏法広まれか

し」と仰られました。

普通はその逆で、「仏

法が広まつて、世の中

安穩になる」のではない

かと考えます。

確かに、仏法が広ま

ているところは争いが生

じることは少ないでし

う。

ただし、現に争

が生じているとこ

に「仏法を聞きな



難しいのです。

私達の煩惱が燃えさ

れば、仏法さえも拒絶

してしまうのです。それ

ど人間の業は深いので

す。

ですから、私達が仏法

を聞かせて頂くために

は、世の中が平穩である

ことが大切なのです。

私達の究極の目的は、

弥陀の本願に出会い、安

養の浄土に生まれること

にあります。人間として

生まれ、平穩な世の中

に仏法に出会っているこ

の、ことこそが「有り難

い」のです。

○阿弥陀様のご催促

今私達が平穩でいら

るといふことは、「早く

仏法を聞きなさい」とい

う阿弥陀様のご催促で

あるのでしょうか。

仏法に出会って、私の

命の問題を解決した上

で「今の生活を大事にす

る」。

そこにより充実した人